

科目名：保育実習Ⅲ(保育所)		講義・ 演習	担当教員名：平山 紀子
			実務経験：有
2年次 後期	2単位	選択必修	必修(実習・指導Ⅲ又はⅣを履修)
授業の到達目標及びテーマ： <ul style="list-style-type: none"> ・保育士の行わなければならない養護の実践理解 ・子どもの自発的、主体的活動の援助 ・指導案の立案と乳児保育の実践 ・保育所保育士としての意欲的、向上的姿勢と生活態度の涵養 			
授業の概要： <p>「保育実習Ⅰ」での経験、学びを基礎として、今後、保育士として必要な資質・能力・技術を習得することを目的とする。乳幼児と積極的に関わり、保育に観察・参加することにより、記録・計画と実践・評価についての学びを深め、指導計画を作成し実践する。また、保護者支援、子育て支援について保育所における実習体験を通して、保育実習Ⅰの発展に位置付けられる内容を具体的に学ぶ。</p>			
授業計画			
1	実習保育所について理解、実習保育所の一日の流れを理解する		
2	学内での学びを基礎とし、実際の子どもの姿と発達を考察する		
3	全体的な計画・指導計画等に基づく保育の実際を理解を深める（乳児） (1) 子どもの最善の利益の尊重 (2) 養護と教育の一体性 (3) 環境を通しての保育		
4	〃		
5	〃		
6	〃		
7	全体的な計画・指導計画等に基づく保育の実際を理解を深める（幼児） (1) 子どもの最善の利益の尊重 (2) 養護と教育の一体性 (3) 環境を通しての保育		
8	〃		
9	〃		
10	〃		
11	指導実習として指導計画案を立案し、保育の方法や技術等、実践を通して修得する		
12	指導実習として指導計画案を立案し、保育の方法や技術等、実践を通して修得する		
13	気になる子どもや発達の遅れのある子どもへの援助方法を学ぶ		
14	子どもの個人差や生活環境に伴う子どものニーズを理解し、その対応方法を学ぶ		
15	反省会を通して保育所の保育士に求められる専門性に照らし合わせて、今後の課題を明確にする		
テキスト： 学び続ける保育者を目指す「実習の本」 萌文書林 久富陽子編著			
参考書等：平成 29 年告示 幼稚園教育要領/保育所保育指針/幼保連携型認定こども園 教育・保育要領(原本) 株式会社チャイルド発行 保育所保育指針解説 平成 30 年 3 月 厚生労働省 株式会社フレーベル館発行			
評価の方法：実習日誌の記載、実習の態度、実習先の評価、本学教員における巡回指導における評価等を総合して成績評価を行う			